

いはき新報

發行日 五月十五、廿五
 福島縣石城郡平町長橋町七〇
 發行所 いはき新報社
 印刷 高木喬
 編輯兼發行人 高木喬
 本紙定價 一月十錢 三月廿錢
 廣告料 場所指定 五十錢
 増刊

謹賀新年

春頭の辭

本紙は創刊以來讀者各位の絶大なる御同情と御後援を辱ふし、將に拾數年の經歷を身に具へるの光榮に浴せる事は誠に感激に堪へぬ次第である。然し乍ら、内容の検討を試る時は今更多言の辯解を要する迄もなく一つとして讀者の御期待に副ひ御便益に與いし處の無い事を深謝せざるを得ない、斯様に見處の無きものをよくも厚顔に公にして來たものと自分乍の愛想を盡かす程である、況んや讀者諸彦にはどれ程物足りなく見られ、年極廣告主には無益の徒長と思はれたか知れない……夫れにも不拘今日迄不斷に賜はりし莫大の御芳援は實に感激に堪へず如何にしてか必ず報恩すべく大努力を惜しまぬものである、願ふ、一段の御指導と御鞭撻を賜り不肖高木をして國家のため最終の美を濟さしめんことを切望して春頭の辭とする、

いはき新報社

高木喬

謹賀新年 [順不局]

元代議士

安島重三郎

福島貯蓄銀行頭取

加藤丈夫

千葉彦治

内郷村消防組頭

佐藤三平

平町會議員

高橋龜松

電話六三八番

小名濱町會議員

立花唯七

電話一〇二番

小田吉次

佐々木健一郎

電話二六一番

元縣會議員

鷺清昇

湯本町會議員

渡邊長作

湯本町電四〇番

湯本町會議員

鯨岡久一郎

湯本町電二〇番

四家又一

内郷村電話四番

磐磐炭礦株式會社

所長 菅原萬次郎

古河石炭礦業株式會社

好間礦業所

入山採炭株式會社

坑務所

磐城水産工業株式會社

支配人 福尾伊太郎

片倉磐城製絲株式會社

石城郡町村長會

石城郡内

各學校長會

平製氷株式會社

專務 松本一郎

平撞球所

平町田町電話四六五番

平和麻雀俱樂部

平田町三益電話三二二番

祐天 映畫題名大懸賞

祐天上人記映畫題名を廣く大衆より募集し其の題名決定者には素晴らしい大懸賞が當ります

誰方も奮って御投書下さい

賞 題名決定者 金五十圓也 一名

佳作三名には薄謝を呈す

名僧 祐天上人の廣大無邊の功徳を顯す我國宗教映畫史上未曾有の天擧として浄土宗務所大本山芝増上寺始め各有識諸氏の後援の下に東洋映畫社が撮影に着手し上人御誕生の地(石城郡大浦村)を中心として一部各各の撮影を進めつゝある事は既報の如くであるが完成は二月上旬の豫定である本映畫完成と同時にまづ帝都日比谷公會堂に第一封切をなし巡次我國全國に亘つて其の實設を公開し其の遺徳を慕ひ社會風潮に一大警鐘を亂打する事になつた當地方では平町を中心として公開する手筈であるが公開場所は未定である 映畫としての上人は愚味より一代名僧に到る其の間には笑ひも涙もある 東洋映畫社は本映畫の題名を廣く諸彦より募集し其決定を見たる上に左の方法によつて懸賞を付する事とした振つて應募されん事を乞ふ

(定規募應)

- △用紙官製ハガキに限る
- △應募一人一枚に限る
- △解答ハガキの中央に祐天上人記
- △「○○○○○」と五字以内の題名明記のこと
- △宛名東京市神田區神保町三ノ三 神保町ビルヂング東洋映畫社懸賞部
- △切昭和十一年一月二十日迄に本社着のこと
- △發表昭和十一年二月十日刊紙に發表す
- △原案 阿部崇順 監修 浄土宗務所
- △製作 東洋映畫社
- △總務部長 高木橋 製作部長 大澤恒夫
- △營業部長 清水徹

謹賀新年 (順序不同)

- 縣會議員
- 蓮 沼 龍 輔 平町 田町電話五六四番
 - 強口 唯七郎 平町 田町電話二八二番
 - 青 沼 鋒 太郎 平町々長
 - 柴 田 鶴 作 平警察署長
 - 小 林 清 吉 平町土木監督所長
 - 遠 藤 惣三郎 豐間村消防組頭
 - 外 幹 部 一 同
 - 豐間料理屋組合一同
 - 豐間大敷網事務所
 - 堀江工業株式會社 平町電話五一九番

久金屋商店

- 高 久 病院 高赤高 佐竹 菊雄 電話五一三番
- 松 村 醫 院 松 村 鐵 朗 電話一〇七番
- 藤 沼 醫 院 藤 沼 平次郎 電話五〇七番
- 鈴木耳鼻咽喉科醫院 鈴木齒科醫院 平町 田町電話五八番
- 高 木 保 小名濱町 日本生命保險株式會社 警務擔當事務所 岡本五一 平町 仲町一番地
- 草 野 央 野村生命保險株式會社 主事 福 島 建之 平町長橋町四七番地
- 磐城建物株式會社
- ツルヤ洋品店 平町四丁目電話四〇一

銘酒販賣 扇屋酒店 紺屋町電話一六五

- 野崎自動車部 貨切乗合 昭和タクシー 電話三四三番
- ますや雜貨店 長橋町電一七四番
- 中川材木店 大工町電話五五六
- 久保田醫院 小名濱町
- 多田井笑次郎 平町會議員 大工町電話五九一
- 西村屋藥舖 喪中年價欠禮

謹賀新年 (順列不同)

賀 正 木 澤 常 松 平古鍛冶町區長

石城郡銀行組合

元代議士 大浦村長

馬 上 守 一 植田郵便局長

大平藥店 平一丁目

△切昭和十一年一月二十日迄に本社着のこと
 △發表昭和十一年二月十日刊紙に發表す
 原作 阿部崇順上人 監修 淨土宗務所
 製作 東洋映畫社
 總務部長 高木橋 製作部長 大澤恒夫
 營業部長 清水徹

賀正 木澤常松 石城郡銀行組合

謹賀新年 [順列不同]

貴族院議員

金成通

衆議院議員

鈴木松三郎

縣會議員

小野とる子

元縣會議員
植田町長

古川信一

植田物産株式會社
專務

山崎 冬

堀江工業株式會社
平町電話五一九番

元代議士
大浦村長

木村信治

萩原炭礦株式會社々長

三浦京申八

衆議院議員

比佐昌平

縣會議員

野崎滿藏

平、日東商會 電話四八二番

本島重雄

平町會議員

川崎文治

磐城建物株式會社

ツルヤ洋品店
平町四丁目電話四〇一

大衆奉仕を念願とする
マルトモ柴田書
植田郵便局長

馬上守一

植田町

金成金三

磐東銀行

銘酒販賣各食料品

入江商店
平三 電話二一〇番

世界館
館主 鈴木寅次郎
支配人 石井孝
平驛通り電話四四六番

白水炭礦會

壽炭礦々業所

五十嵐炭礦 不動澤 鑛業所

杉山炭礦 々業所

浪花炭礦 々業所

神奈川炭礦 坊 鑛業所

高階炭礦 々業所

喪中年賀缺禮

なかや洋服店
電話二〇三番

喪中年賀欠禮

西村屋藥舖

大平藥店
平一丁目
電話六四二番

關内藥舖
電話四〇番

木村病院長

木村寅次郎
新川町電一六四番

瀬尾藥局
搔槌 小路
電話五五三番

各國果實
促成野菜
食料品 問屋

藤居商店
平三電話五四三番

衛生第一

岡田牛乳舍
平町鎌田町
電話五一番

一德本松
番五八二平話電村窪平

銘酒白馬のキ

番六四五話電 目丁三町平 所業營雪の馬白

謹賀新年

【順序不同】

- 増田 醫院
平南町電四八二番
- 平運輸株式會社
- 平町 西洋料理組合
- 市原 醫院
院長 市原卯太郎
- 平町旅館組合
- 湯本信用
無盡株式會社
電話 四六番
- 有限責任 信用組合
平庶民金庫
- 白菊
廣瀬 支店
平町田町電五四
- いづみや
玩具店
平 驛 前
- 佐藤材木店
(電話 三三五)

- 明治生命保險株式會社代理店
大一屋 根本 商店
電話 區 一三番
- 山崎合名會社
電話 區 本店二七番
營業部一〇番
- 製造と販賣
ウシク子供洋服店
平二丁目電話三八七番
- 西洋料理
コンパル
主 高崎 松 三
平田町電六六六番
- 鈴木片濱自動車部
主 鈴木 善太郎
電話 二一七番
- 平 驛 前
阿部石炭商店
電話 二三七番
- 常盤屋時計店
電話 三九九番
- 平町田町
中野齒科醫院
電話 五〇九番
- 貸切乗合貨物
芹澤自動車部
電話 三九五番
- 西洋料理
バツカス
平 銀 座 通 り

- 平藝妓屋組合
- 平料理屋組合
- 平 驛 前
遠藤パン店
電話 一〇七番
- 武藏鐵工場
主 遠山 稻吉
電話 五一四番
- 東部電力
平營業所
- 小野常治商店
電話 一四四番
- 各毛糸一般
ハシモトヤ
糸 店
平町田町
- 三井吳服店
平町三丁目
電話 三八番
- 印半天專業
草野染工場
平町 鎌田町
- 洋品足袋ゴム靴
横山彰介商店
電話 九四番

- 土木建築請負業
松本千代治
- 井坂 醫院
院長 井坂 久吉
- 檜田材木店
檜田 榮太郎
- 泉 屋
金牌受領いづみ最中
平五 電六六八番
- 處方調劑醫療器械
堀 藥 局
藥劑士 堀 功
平二丁目電三二六
- 漆器 家具
丸ほん
平三丁目電三四五
- 伊勢屋荒物店
阿部 唯次郎
- 會田時計店
平四丁目電三六三
- 御料理
末 廣
平田町電四二一番
- ト印魚問屋
平四電五二八番

- カフェー
スッリン
植田町電話五六番
- 田邊 商店
電話 二九四番
- 石川 亭
電話 四三番
- 足袋仕立物
メリヤス類
齋藤 商店
一丁目 商號 九屋
- 銘茶
大勝園茶舗
鈴木 義 忠
電話 三九六番
- 株式會社
百澤商店
電話 十二番
- 親切、丁寧、
迅速主義
秋山時計店
平 驛 前
- 坂本紙店
電話 一八番